

# 仙台湾沿岸地区における海岸防災林被災概要



## 仙台湾沿岸では・・・

仙台湾沿岸に押し寄せた津波は、標高の低い平野部を中心に広い面積を浸水させました。標高の低い範囲の広い仙台区域では約4～6km、背部に丘陵地帯が控える山元町でも1～4kmの幅となっています。その中でも海岸防災林では、多くの木が折損、流失したほか、生き残った立木も塩害の被害を受けたところ。また、地盤沈下により地下水位が相対的に高まり、防災林の健全な育成、維持管理が困難な状況にあります。したがって、海岸防災林の再生には生育基盤の造成が不可欠な状況となっています。

## 仙台湾沿岸における区域ごとの海岸防災林被害面積 (ha)

直轄事業区域	七ヶ浜	仙台	名取	岩沼	亶理	山元	合計
国有林	4.9	186.5	37.0	116.7	19.3	76.3	440.7
民有林	0	143.9	89.1	178.1	102.4	143.1	656.6
合計	4.9	330.4	126.1	294.7	121.8	219.4	1097.3

※民有林被害面積には直轄事業に関わらない海岸防災林の面積は含まれていません  
 ※各面積は少数第2位を四捨五入した数値で、合計と合わない場合があります

## 仙台湾沿岸における区域ごとの海岸防災林被害状況

### 七ヶ浜区域



汀線が大きくえぐり取られているものの、まばらに残存林を確認

七ヶ浜汐見台周辺の被災状況

### 仙台区域



内陸部では貞山堀付近に一部残存林を確認

若林区荒浜周辺の被災状況

### 名取区域



海岸防災林は壊滅

関上周辺の被災状況

写真提供：一般社団法人東北地域づくり協会

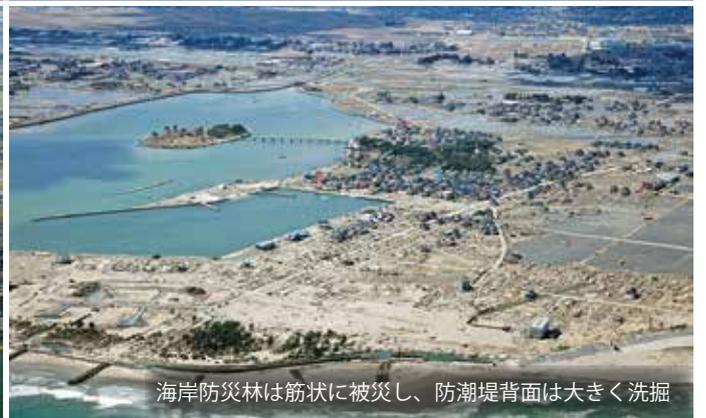
## 岩沼区域



内陸側には残存林も確認されたが汀線付近の海岸防災林は壊滅

工場地帯周辺の被災状況

## 亘理区域



海岸防災林は筋状に被災し、防潮堤背面は大きく洗掘

鳥の海周辺の被災状況

## 山元区域

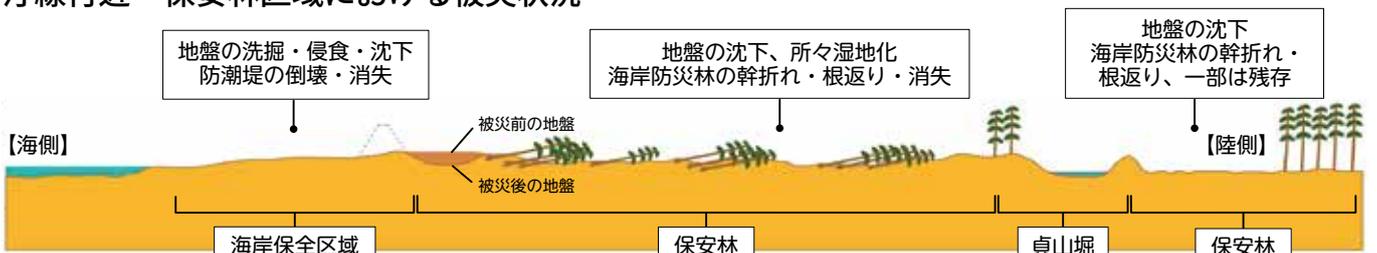


海岸防災林は壊滅し、防潮堤の背面は大きく洗掘

坂元周辺の被災状況

写真提供：一般社団法人東北地域づくり協会

## 汀線付近～保安林区域における被災状況



防潮堤が存在した場所でも、背面の地盤が大きくえぐり取られるなどの被害が見られました。背後の林帯でも約20～40cm程度の地盤沈下が生じ、一部では湿地化が見られます。

## 津波を受けた海岸防災林の状況

海岸防災林の立木が根返りしたり、流出した場所は、地盤高が低く、地下水位の高い傾向がありました。学識経験者からは、地下水の影響で樹木の根が地中深くに伸びず、根の緊縛力が弱かったためではないかとの指摘を受けています。また、津波による局所的な侵食、地盤沈下により湿地化が進む場所もあります。被災前の防災林のように、健全な状態で維持することは難しい状況です。



● **幹折れ** 津波の衝撃力に耐え切れず幹から折れた状態のことです。



● **根返り** 樹木が押し倒されて根の大部分（根鉢）が地上に浮き上がった状態のことです。



● **傾倒木** 幹が折れることなく全体的に押し倒され、根から倒れ曲がった状態のことです。



### ● **津波堆積物と塩害**

津波堆積物とは、津波によって海底から巻き上げられた泥・砂・礫などの碎屑物や生物遺骸が堆積したものです。また、津波の海水をかぶったことで樹木が枯れる塩害も発生しています。



### ● **地盤沈下と地下水位**

各地で地震により大規模な地盤沈下が発生しました。その影響を受け、海岸線付近では地下水位が地表付近となり、植生の健全な生育・維持管理が困難な状況となっています。